



# AIYES 通信

横浜スペイン協会会報

発行：横浜スペイン協会 横浜市鶴見区岸谷 2-18-4 年4回発行（1月4月7月11月）

## 『ロンダさくら植樹 2023』のご報告

2020年3月に協会の30周年行事の一つとしてロンダ市で桜の植樹を通じた市民交流を行う企画は、同年2月から本格化した新型コロナウイルスのまん延により中止となりました。それから3年経ち、3月28日に規模を縮小して実現することが出来ましたので以下ご報告いたします。先ず前日27日朝、マドリードで駐スペイン日本大使館の南公使を訪問し、協会の活動並びに今回のロンダ市でのプロジェクトについて説明を行い、その日にロンダ市に移動して故春田画伯の親友で本プロジェクト実現のため、ロンダ市役所と連絡を取っていただいたカベッサさん、今回通訳をお願いした井上綾さんを交えて翌日のイベントの打ち合わせ会を行いました。しかし、2019年事前調査を行った際にお会い出来た春田画伯の奥様のレメさんは、残念ながら昨年2月に病気で亡くなられたため参加ができませんでした。カベッサさんも2019年に事前調査を行った際にお会いした後、病気をされたと伺っていましたがお元気そうで下山会長と綾子夫人との再会を抱き合って喜んでいました。28日朝、ロンダ市の文化教育担当官のアリシアさんが市民文化交流を行うための場所として市の象徴とも言えるヌエボ橋の袂にある修道院跡の建物内のセミナー用教室を2つ用意していただいたので、そこに事前に必要なものを皆で運び込んだ後で市庁舎に向かいました。そこではローカルTVクルーが待ち構えていて、マリアデラパス市長の会見場として利用している部屋で用意した覚書を取り交わしました。この覚書は、故春田画伯の夢であった桜の植樹が協会の故初代下山会長の協力で実現できた経緯から、今まで行ってきた桜の植樹と市民との文化交流の歴史について確認すると共に、今後とも当初の趣旨に基づいて交流を継続して行うことについてロンダ市と協会が合意した文書となっています。マリアデラパス市長は、自身が2000年4月当時文化担当官であった際に協会の招待で横浜を訪問し、三溪園ほかで桜見物をした際の思い出も披露され、協会とロンダ市との深い関係を強調されていました。今回は日本の寒山桜をルーツとする桜の苗木を10本市役所によりイタリアから調達して頂き、アラメダ公園に6本、カベッサさんの自宅の前の公園に4本植樹しました。植樹式はアラメダ公園内の新しい歩道の脇で行われ、市長に加えて1993年の植樹式と同様に地元の小学4年生20名が参加したほか、同じく1993年から市役所側の受け皿となり横浜にも来られた前助役のラサンタ氏も参加されて和気あいあいとした雰囲気でした。会場では地元のTVクルーを前に全員が交代で苗木の土かけを行い、市長より子供たちに対して家に帰ったら家族に今日行ったことを話して、是非次は家族を連れて桜を見に来るようにと話していたことが印象に残りました。そこから植樹式に参加した小学生20名と先ほど述べた修道院跡のセミナー用教室に移動して折り紙教室を行いました。課外授業でもあるので、まず初めに下山綾子さんから日本についての基本的な知識を確認するためクイズ形式で世界地図の中で日本がどこか？日本の国旗はどれか？一番高い山は？スペインの一番高い山とくらべてどちらが高い？など質問すると元気よく手が上がり、手を上げてから考える子供もいましたが、日本に関する知識をある程度持っていることが分かりました。その後、胡桃澤みどりさんを講師に先生も加えて鶴と兜を折る作業に入りましたが、ここからが大変で出来ない子供たちが続出し、その席の間を胡桃澤さんご夫婦、綾子さんたちが縫いながら折り方を説明しましたが、4年生には鶴

はちょっと難しかったようです。それでも心配していた集中力がなくなる生徒は一人も出ず、出来た子が出来ない子に自主的に教えたり、講師の説明を聞かなかった際に先生が注目するように注意すると素直に聞くなどとても礼儀の良いいい子たちでした。また、お遊びで持参したピカチュウの顔に目や口を描いたりしたのもいい経験だったと思われました。最後に先生が今日の授業といつもの算数の授業のどっちが楽しかったと聞くと iEsta! と大きな声で全員が答えたのがうれしかったです。昼食は市役所前のレストランでアリシアさん、公園管理担当官のコンセプトンさんと担当のフアンアントニオさんが同席して済ませた後、前回 2019 年の事前調査で確認した計 30 本の桜が残っていた場所 7 か所を回りました。結果は残念ながらフアンカリージョ小学校の校庭にあった 1 本で上下 2 色の花を咲かせていた八重桜が枯れてしまったことで、2005 年に出来た日本桜公園も生き残っていたのは 1 本だけでした。今回新たに植樹したカベッサさんの自宅前の公園を新たに加えれば場所は同じ 7 か所ですが、やはりアンダルシアで桜を生育させることの難しさを改めて実感しました。最後のイベントは、書道教室で折り紙教室を行ったセミナー用教室の隣で市内のアートなどの社会人講座に通っている生徒さんの中から書道に興味のある方 26 人が参加して行われました。大戸尚美さんを講師に漢字とひらがなについて説明した後で「桜」と「さくら」を皆さんに筆を使って書いてもらいました。中にはアニメの講座を開いている講師もいて芸術的な作品が出来上がりました。はじめは皆さんまじめな顔で講師の話に注目していましたが、そのうち小学生同様に自分が書いた「桜」はうまく書けているか? と聞いてきたり、子供や孫に見せたいので、彼らの名前をひらがなで書いてくれと言われてたりと大騒ぎになりました。最後に今回参加できなかった服部さんの折り紙作品をお土産に手渡すと皆さん大変喜んで自宅に持って帰られました。朝 8 時 40 分にホテルを出発してから休むことなく夜 8 時近くまで全てのイベントを消化し終えた参加メンバーは、全員疲労困憊でホテルに帰る途中のバルで無事終了できたことを祝って乾杯したのでした。参加メンバーの皆様、大変お疲れ様でした。今回の「ロンダさくら植樹 2023」に関する報告会は、5 月 27 日に開催予定の協会の年次総会の後と 6 月 12 日の旅の会で写真等をお見せしながら行う予定です。(岩田岳久)



↑マドリードの日本大使館 南公使と  
← ロンダ市庁舎前で市長・文化担当・公園担当らと協会メンバー



← 覚書調印  
(市役所会見場にて)



子供たちと植樹 →  
(アラメダ公園にて)





折り紙教室 盛り上がりました



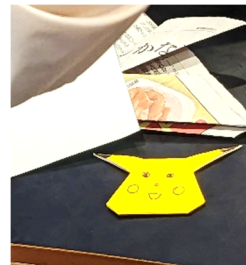
書道教室 皆さん熱心



以前に植えた桜が満開でした →



← 30年前からの友人カベッサさんとメンバー  
カベッサさんご自宅近くの公園にて（今回4本植樹）



## 新春親睦パーティー開催

快晴の2月4日（土）KKR ポートヒル横浜で、新春親睦パーティーが開催されました。コロナ禍で2年間開催できなかった鬱憤を晴らすかのように34名が参加し楽しい時間を過ごしました。会員の戸尚美さんの司会で始まり、下山会長のご挨拶は今年の活動計画にも触れ、ロンダ市でさくら植樹を行うことも発表されました。日本で唯一のプロのバグパイプ演奏家、小嶋佑樹氏の演奏に皆さん魅了されました。哀愁を帯びた音色とオリジナル曲の演奏、この楽器は意外にも北スペインのガリシア地方が発祥の地であることは驚きでした。下山会長から各理事が紹介されそれぞれ現在の活動を報告しました。滝澤三枝子さんのピアノ演奏、問屋正勝さんのスペイン巡礼のお話、坂間至朗さんの「Malagueñas」独唱、高木洋子さんのピアノ演奏、最後は栗山由美子先生の指導で、赤い胸飾りをつけた桜合唱団のClavelitosの大合唱がありました。横浜



港を見おろす高台の風景、美味しい料理と飲み放題のワインを堪能し、会員同士のおしゃべりも弾んだ楽しい親睦パーティーでした。  
(大戸正彦)

# 2023年度前期スペイン語教室

前期講座：2023年4月1日～2023年9月30日

創立後30年以上活動を続ける横浜スペイン協会が運営する歴史あるスペイン語教室です。当協会のスペイン語教室はスペイン語の習得だけでなく、スペインの文化にも幅広い知識や理解を深めることを目指しています。

## 1) お知らせ

- ・前期は4月、後期は10月に開講しますが、**入会は随時できます**。
- ・最初に見学を希望される方は、3教室、3回まで**無料で見学**ができます。
- ・クラスのレベルは凡その目安です。受講される前には無料見学で体験されることをお勧めします。
- ・**各クラスの定員は一部を除いて原則15名です**。クラスに空きがあるかどうかはその都度ご確認ください。
- ・入門、初級クラスは日本人講師の指導でしっかり基礎を学び、中級以上は本場スペイン語ネイティブ講師が指導します。
- ・受講申込み及び受講費等の詳細については、後述3)「受講申込み及び受講費」をご覧ください。
- ・前期の日程は別掲載「2023年度前期スペイン語教室日程と教室一覧」をご覧ください。

## 2) 実施中のスペイン語教室

### 2-1) 横浜駅西口教室(かながわ県民センター:神奈川区鶴屋町2-24-2)

クラス名	レベル	項目	講座内容
1	フレッシュ	初級 授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 中園竜之介先生 「文法から学べるスペイン語」ナツメ社 文法の基礎を学んだ方を対象に、より豊かな表現で意思疎通を図れるよう、過去形や接続法などの基礎よりワンランク上の文法や言い回しを学びます。
2	リリオ	初級 授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 13:00～14:30 中園竜之介先生 ”Lola Lago, detective”シリーズ Vacaciones al sol 文法を一通り学んだ方を対象に、会話文を多く含んだ教材を利用して、長い文章や会話を理解できるようになることを目指します。また、シチュエーションごとにフリートークを行います。
3	アサレア	初・中級 授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 水曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 La noticia de hoy [Edición revisada] 三修社 一応の文法を学んだ方を対象に、聞き取り練習、スペイン語圏の社会事情を扱った記事の講読、様々な会話練習を通し、実際に使えるスペイン語を習得していきます。
4	セレス	初・中級 授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 山田るりこ先生 「スペイン語接続法 超入門 高垣 敏博」(NHK出版) 5月から接続法の学習に入ります。苦手意識を持たれる方が多い接続法ですが、正しくアプローチすればそれほど手ごわい相手ではありません。
5	ハスミン	初・中級 授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 山田るりこ先生 「Plaza Mayor 2」 各課15問の作文を毎回2～3問ずつこなし、テキストが求める模範解答以外の表現の可能性も探る(接続法の単元でも、接続法を使わない方法など)。 並行して会話テキスト「サヨナラ、棒読みスペイン語！」をベースにした会話練習。



6	アマポーラ	初・中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 10:30～12:00 山田るり子先生 1.「極める！スペイン語接続法ドリル」白水社 2.短編小説「TOTTO CHAN（窓際のトットちゃん）」日本スペイン協会 接続法を集中的に学習します。 また短編小説の読解を通じて単語力・表現力をつけていきます。 これらを交互に進めていきます。
7	カメラア	中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3月曜日 13:00～14:30 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセローナ出身) 第1、第2月曜日は「Español en Marcha4」 第3月曜日はピセンテ・プラスコ・イバネスの「Sangre y Arena」を読みます。 テキスト、物語は一回の授業で1～2ページとゆっくり進みます。 毎回交代で簡単に自分の出来事などをスペイン語で話します。 授業はスペイン語で行われます。
8	クラベル	中級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3 水曜日 13:00～14:30 ホアン・カルロス先生 「Nuevo Español en Marcha 3 B1」、物語読本「Cuentos,Cuentos,Cuentos」 基本的なスペイン語の文法を一通り終了しもう一段階上のスペイン語を目指すクラスです。 第1、第2水曜日:「Nuevo Español en Marcha 3 B1」及び練習問題のプリント 第3水曜日:近況をスペイン語で発表した後、スペイン語の物語を講読。 授業はスペイン語で行われます。
9	ビオレタ	中・上級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 ビクトル先生(Prof.Victor Pérez バルセローナ出身) 「Curso de Lectura Conversación y Redacción」SGEL社 会話中心の授業を展開しながら、芸術・文学・歴史・社会・伝統・習慣などを 幅広く学びます。 授業はスペイン語で行われます。
10	ヒラソル	中・上級	授業日 講師 講座内容	第1・2・3 水曜日 10:30～12:00 ホアン・カルロス先生 第1水曜日 映画鑑賞と台本講読 「Todo sobre mi madre」アルモドバル監督作品 第2、3水曜日 スペイン語小説の講読「Soldados de Salamina」Javier Cercas 著 視聴と講読でスペイン語力を深めます。授業はスペイン語で行われます。
11	チャルラ	上級	授業日 講師 講座内容	第4月曜日 10:30～12:00（開講日は別掲載「教室一覧表」をご覧ください） ビクトル先生(Prof.Victor Pérez カメラアクラス講師) スペイン語の新聞・雑誌等から政治、経済、社会、文化、その他の記事を取り上げ、それに関するディスカッションを通じてスペイン語力の向上を図ることを目標にします。

## 2-2) 横浜駅東口教室(スカイメナー会議室:西区高島2-11-2)

12	マルガリタ ＜新規開校講座＞	入門	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 金曜日 18:30～20:00 中園竜之介先生 「基礎からレッスンはじめてのスペイン語」 4月開講の新講座です。初めてスペイン語を学習される方を対象としています。
13	マゲノリア	初級	授業日 講師 教科書 講座内容	第1.2.3 木曜日 10:30～12:00 栗山由美子先生 「IDEAL(イデアル)」同学社 過去形の学習に入ります。テキスト使用の他に、様々な状況を設定して 会話練習を重ねます。

## 2-3) 横浜海岸通り教室(波止場会館会議室:中区海岸通1-1)

	クラス名	レベル	項目	講座内容
14	新聞、雑誌を読むクラス	上級	授業日 講師 教科書 講座内容 受講料	第4土曜日 10:15～11:45 栗山由美子先生 スペインの新聞・「El País」の記事を主に使用。 スペインとラテンアメリカ情勢を中心にしてスペインから見た世界の情勢を勉強します。 (討論は日本語で行われます。) 記事の内容を理解するには上級程度の語学知識が必要です。 ¥1,500/回

## 3) 受講申込み受講費他

- ① 各教室定員は、原則として15名。空席のある場合は会員優先で随時入会可。 **入会金不要**
- ② **受講料:各教室(除くマルガリタ) ¥1,500/回 半期分前納(前期15回、後期18回)【マルガリタクラスは ¥2,000/回】**  
・横浜スペイン協会会員以外の方は別途事務費2,000円(各期ごと)が必要です(協会員は無料)。  
・期の途中から受講される場合は、受講日からの日割り計算になります。
- ③ 使用言語:外国人講師は日本語も堪能ですが、教室では生きたスペイン語が中心です。

・お問い合わせ、お申し込み先: 下記のメールアドレスにご連絡をお願い致します。

E-mailアドレス: [spanish\\_class@yokohama-spain.jp](mailto:spanish_class@yokohama-spain.jp)  
(spanishとclassの間にアンダーバーが入ります)

## 大使館の桜・観桜会

「桜が満開になりました。ぜひ観にいらしてください」とご招待を受けて、3月23日に協会を代表して理事7名で東京港区のスペイン大使館を訪問いたしました。当日はあいにくの雨降りでしたが、濡れて傘に落ちた花びらが模様様の様でそれも風情でした。公邸の玄関前右側に協会創立15周年を記念して植えた横浜緋桜は堂々としています。創立30周年の記念樹は2020年2月に対になるよう玄関の左側に植えたものですが、まだ可愛らしく少しだけ咲いた花は既に終わっていました。でもしっかりと根付いている様子でこの先が楽しみです。公邸の前庭から



らぐるりと回り中庭に入ると、大きな木が並び2025年に大使館を建ててから100年経つというのも領けます。その立派な木々の中に我々が横浜緋桜も満開になっていました。桜をバックに写真を撮った後、応接室に通していただきお茶をご馳走になりました。センダゴルタ大使、サンツ文化参事官、大使館職員の中尾さんと私たちは美味しいお菓子やホットサンドをいただきながらいろいろなお話をすることが出来ました。特に、5日後に迫ったロンダでの植樹と文化交流の説明を下山会長が熱く語ると、大使から「プロジェクトの成功を祈ります。そしてよい報告を待っています。」と激励してくださいました。また、関東大震災後に大使館を立て直す前、一時的に横浜に大使館を移していたことがあったらしく、築100年を記念してその調査をしているとのことでした。文化参事官からの要請もあり、我々横浜スペイン協会も調査協力をお約束しました。コロナで自粛していたお花見も、今年は以前のように楽しめたので、日本人のその様子を初めてご覧になった大使は、桜愛の国民性をご理解されたようでした。(下山綾子)

※横浜のスペイン大使館について何かご存じの方はぜひ協会までご一報ください。

## ●スペイン語クラス

### ◇「スペイン語で新聞・雑誌を読むクラス」特別公開講座

#### “アルゼンチン、日本の地球の裏側の国を知る”

講師は、Buenos Aires 大学法学部教員のDiego Barbanente氏。1月の夏休み中の来日で元々栗山先生の知り合い、日本に関心が深いと自己紹介された。講演は、Buenos Aires 建設起源となった1536年に始まる国の歴史や、人口4800万に日本の約4倍の国土地理の説明など全般的なことからは始まったが、現在の政治社会情勢の話は直に聞くだけにより興味深かった。今世紀



も一時期を除きポピュリズム政権が国を掌握し続けて社会の分断が進む。現副大統領Cristina Fernandezは、大統領時の収賄汚職で先程実刑判決が確定。国民はこの1年で100%のインフレに苦しむ。ペソ・ドル両替もままならない。Tango, pampa, asadoのイメージとは異なる現実を知りました。(中西 博美)

### ◇22回クラス委員会の報告

1月24日(火) Zoomにてクラス委員会を開催しました。(出席者10名、欠席者2名)担当理事からは、昨年8月に参加者20名にて夏季講座を実施したこと、10月から一部クラスの予約事務を外部に委託したこと、平日夜間クラスの新設を本年4月より行うこと、フラン先生が本年3月で辞められるため後任を選定中であることを報告しました。(後日ホアン・カルロス先生に決定)クラス委員からは、授業内容の報告(テキストでの文法・作文、先生からの課題についての発表、近況報告等)、以前より会話の時間が増えたこと、受講生の皆さんの意識が高く授業に満足しているとの報告がありました。下山会長からは、生徒数の減少に対し平日の夜間クラス検討、ホームページ等で増やすべく活動を行うとのコメントありました。(原健三郎)



## ●スペイン・サロン

\*スペインのお菓子と歴史

3月3日@波止場会館 講師：丸山久美先生

スペインを歩いていると、修道院の素朴なお菓子の直売に出会うことがあります。質素な生活を営む修道院で何故お菓子??の謎を、今回、丸山久美先生が解き明かしてくださいました。中世の修道院は印刷・製本・建築・医学・薬学…と、あらゆる知識を持つ頭脳集団でした。女子修道院では奉仕活動として、男性修道院のためにクリーニングや司祭服の刺繍なども行い、洗濯糊の代わりに卵白が使われたというのです。なるほど、その残りの黄身を利用して、ジェマ・デ・サンタ・テレサ（鶏卵素麺の先祖）、トシーノ・デル・シエロ、クレマ・カタラーナなどが作られたのです。大きな修道院では籠を持ち、余った小麦粉や砂糖を使い、一般家庭では作れないパンやお菓子を作ることができました。自分たちのためでなく、寄付や外部で



の行事のために。そして女子修道院は、王族の嫁入り修業の場、未亡人の生活の場でもあったため、修道女たちは世俗の情報にも詳しくはなっていました。目を輝かせて話を聞く修道女たちの姿が目につきます。他にチョコレート、マグダレーナ、ビスコッチョ（カステラの先祖）、マサパンなどの歴史もご紹介いただきました。これからスペインのお菓子を頂くとき、その歴史を探ってみたいと思います。（山田るりこ）

## ●スペインサークル

《旅でスペインを識ろう会》

① 「ポルトガルの道と聖地ファティマ」 1月16日@かながわ県民センター 講演者：問屋正勝氏

3年ぶりにサンティアゴ巡礼に出かけた問屋氏は、首都リスボンを9月15日に出発して、サンティアゴ・デ・コンポステーラに10月20日に到着しました。途中、聖地ファティマ、古都コインブラ、ポルトを経由して、国境の町ツイで二人の仲間と合流、611kmの道を歩きました。「コロナ禍のため十分なトレーニングができず体力の衰えを感じましたが、スペインとポルトガルの町、風景、食事とワインを楽しむことができました。また、友人と再会できたのは喜びでした。」とお話を締め括りました。問屋氏の目標である「巡礼2万km」は、あと数年で達成できそうです。

② 「暮らすような旅 II 4週間のSevilla」 3月13日@かながわ県民センター 講演者：平本紀子氏

コロナ規制が緩み始めた昨年の10月に行ったドイツのゲルンハウゼン（フランクフルト近郊の町）とスペインは、カルモナ、カディス、セビージャでの語学学校とホームステイでの生活について、たくさんの素敵な写真とともに振り返りました。※CLIC(Centro de Lenguas and Intercambio Cultural) International House Sevilla をご参照ください。

## ●シネマサロン



**Carlos Saura** カルロス・サウラ

(スペインの映画史上で最も重要な映画監督の一人 1932, 1, 4~2023, 2, 10)

(愛する人々に囲まれながら2月10日、自宅で生涯を閉じた)

Aragón州、Huescaに生まれた彼は、生涯で長短編映画50本を作ったと言われているが、その代表作は、フラメンコダンサー・アントニオ・ガデスとその舞踊団と組んで作った、フラメンコ三部作と言われている「血の婚礼-Boda de

Sangre」(1981年)、「カルメン-Carmen」(1983)、「恋は魔術師-El Amor Brujo」(1986)である。その他に「フラメンコ-Flamenco」(1995)、「タンゴ-Tango」(1998)、「サロメ-Salomé」(2002)、「フラメンコ・フラメンコ」(2010)等がある。いずれもフラメンコを通して人間の感情を深く、厳しく情熱的に描いている。この他に、「カラスの飼育-Cría Cuervos」(1975)「愛よりも非情-iDispara!」(1993)、「タクシー-Taxi」(1996)では幼い女の子や若い女性を主人公にし、家族や社会との悩みや葛藤の中で純真さや残酷さを描いていて印象深い。初期の映画を見る機会はなかったが、フランコ独裁の時代(1975年に終る)の前と後とでは作品に込める内容も違ったようだ。晩年には「サウラ家の人々」(2020)で、4人の女性(ジェラルディン・チャプリンも含めて)との間に7人の子を持ち、その家族を紹介している。今年3月10日にはゴヤ賞を受賞することになっていた。またこれから「Lorca por Saura」(サウラによるガルシア・ロルカ)が封切られるという。スペイン北部に生まれたサウラが南部地域(アンダルシア)発祥のフラメンコや詩人ガルシア・ロルカ(「血の婚礼」はロルカの原作)や作曲家・マヌエル・デ・ファリャ(「恋は魔術師」はファリャのバレエ曲から発想を得て)になぜこれほどこだわったのか、私にとっては深い疑問として残っている。(松本益代)

\*\*\*\*\*

### 新会員紹介

\*\*\*\*\*

**吉田 英也 (Hideya YOSHIDA)**

川崎市高津区在住 2022年2月入会

妻に引っ張られて入会させていただきます。語学の習得はかなり苦手ですが、よろしくお願ひします。簡単なスペイン語習得とバルセロナについての情報取得が出来ればうれしいです。

**吉田 明美 (Akemi YOSHIDA)**

川崎市高津区在住 2022年2月入会

スペインのことは何も知らず、行ったこともありませんが、小さなご縁をきっかけに、これからたくさん知りたいと思っています。まずは、ガウディの建築をこの目で見たい!末永くよろしくお願ひします。

### <<賛助会員各社の会員サービス内容>>

◆会員証の提示で、下記賛助会員企業より表記のサービスが受けられます。

賛助会員	住所	☎番号	会員サービス
カサ・デ・フジモリ関内本店	横浜市中区相生町1-25	045-662-9474	サングリア1杯無料
Bar Español	横浜市中区相生町2-43-2	045-651-1074	サングリア1杯無料

《編集後記》 ロンダへ行ってまいりました。30年前にこの地に桜を植樹したことが当協会設立の第一の目的で、その原点をこの目で確認しました。30年前に植樹した桜も咲いていました。当時その事業に関わった方々にもお会いしました。文化交流の折り紙教室に小学生を引率していらした先生は、30年前はご自身が教職に就いた翌年だったと話してくださいました。30年という月日は長いようで短いです。でも、文化交流の教室に使わせていただいた施設の担当者からは、次は30年後と言わず近いうちにまた来て下さいね、といわれてしまいました。やっぱり30年は長いです。あともう一つ語らせて!「マリパ」と愛称で呼ばれている女性市長がとにかく魅力的!すっかり魅了されて、彼女のフェイスブックを毎日みえています。(A.S)

編集長/下山綾子 編集委員/ 岩田岳久 大戸正彦 下山利明 武菱邦夫 服部君江 原健三郎 松村清

投稿寄稿宛先 E-mail

全般 : info@yokohama-spain.jp  
 スペイン語教室: spanish\_class@yokohama-spain.jp  
 スペイン・サロン: spain\_salon@yokohama-spain.jp  
 ホームページ : http://www.yokohama-spain.jp

次回の原稿締切は

**6月10日(土)です**

横浜スペイン協会